

飲酒運転撲滅週間8月25日(木)～31日(水)

飲酒運転は絶対しない! 許さない!
そして見逃さない!



平成18年8月25日、福岡市の海の中道大橋で飲酒運転により幼い子ども3人が亡くなるという痛ましい事故が起こりました。私たちは、この悲惨な事故を決して風化させてはいけません。

飲酒運転事故は、被害者、加害者、そして両方の家族の生活を大きく変えてしまいます。たとえ交通事故にならなくても、飲酒運転をすること自体が重大な犯罪です。

8月は、お盆などで飲酒の機会が増える時期です。家庭や会社などで、「お酒を飲んだら運転しないこと」「お酒を飲んだ翌日に二日酔

い運転にならないよう、飲酒量、飲酒時間に気を付けること」を再度確認しましょう。

◆**県内の飲酒運転の発生状況**

福岡県内の令和3年中の飲酒運転による交通事故は94件でした。前年より17件減少しましたが、飲酒運転撲滅には程遠い状況となっています。また、飲酒運転事故による死者数は令和2年中は4人でしたが、令和3年中は6人と前年より2人増加しました。

「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」という意識を持ち、飲酒運転ゼロを目指しましょう。

●**問い合わせ先**
生活安全課

☎(580)1897

**飲酒運転撲滅
街頭啓発キャンペーン**

福岡県では、毎月25日を飲酒運転撲滅の日として、飲酒運転による事故発生件数をゼロにしようとして取り組んでいます。

市では、市内の商業施設などで啓発を行い、市民に対して飲酒運転の撲滅を呼びかけています。



**「補償運転」を知っていますか?
事故を起こさないためのマイルール**

補償運転とは、加齢に伴う運転技能の低下を補うために、自分の体調や天候、道路状況などを考えて、安全に運転することです。運転に不安を感じたときは、補償運転を行って交通事故をなくしましょう。

長距離運転はやめて、運転は近所のスーパーと病院だけにしよう

夜は目が見えにくいから運転は昼間だけにしよう

雨の日は視界が悪いから、運転は晴れの日だけにしよう

